

都市計画道路 東中央線の開通について

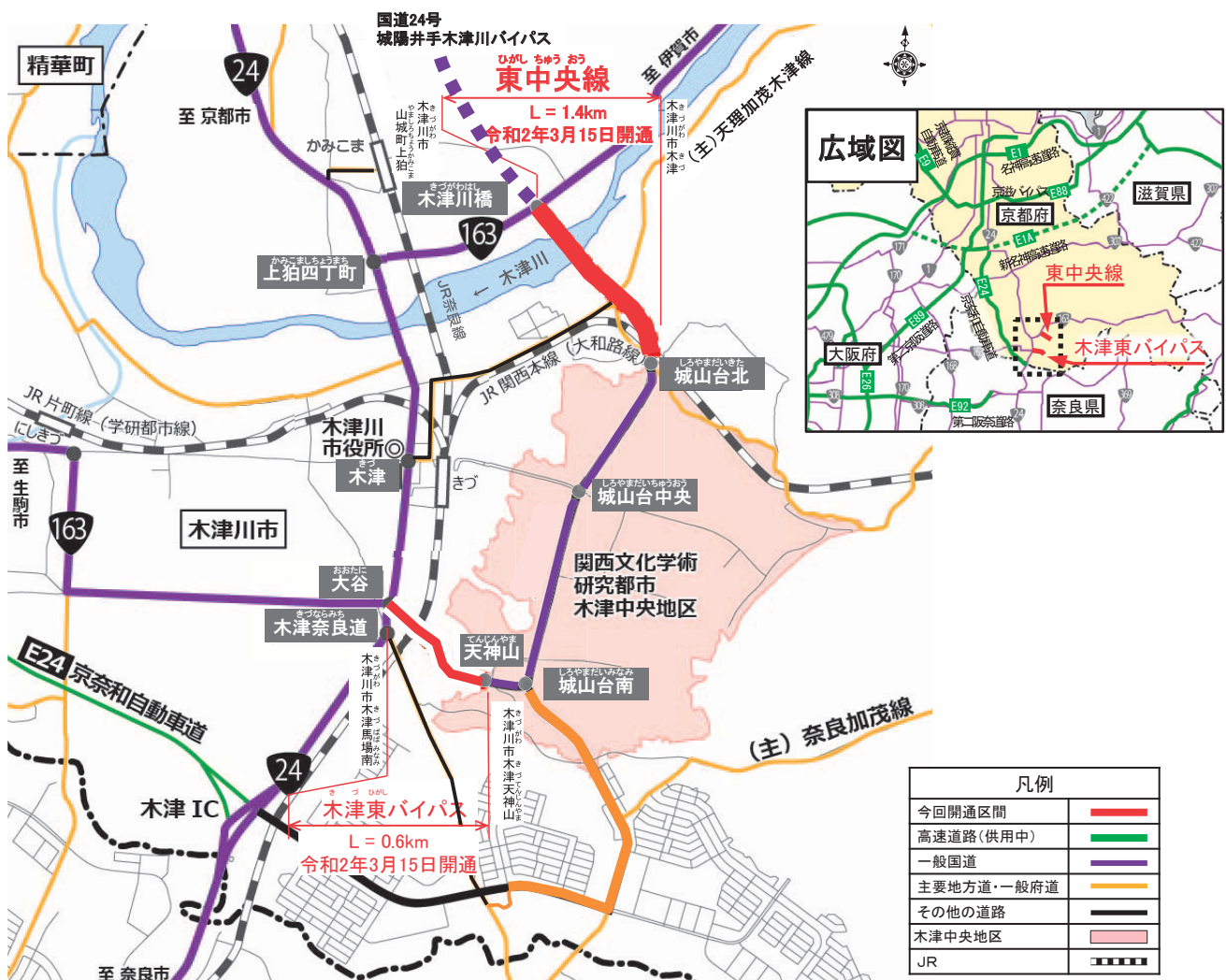
京都府建設交通部 道路計画課・道路建設課

1. はじめに

都市計画道路東中央線は、京奈和自動車道木津インターチェンジから関西文化学術研究都市木津中央地区を通過し、一級河川木津川を渡り国道163号に接続する都市計画道路です。

本路線のうち、木津中央地区を通過する区間はすでに整備が完了しており、残る国道163号までの1.4kmの区間について、平成21年度に事業着手し、令和2年3月15日に開通しました。

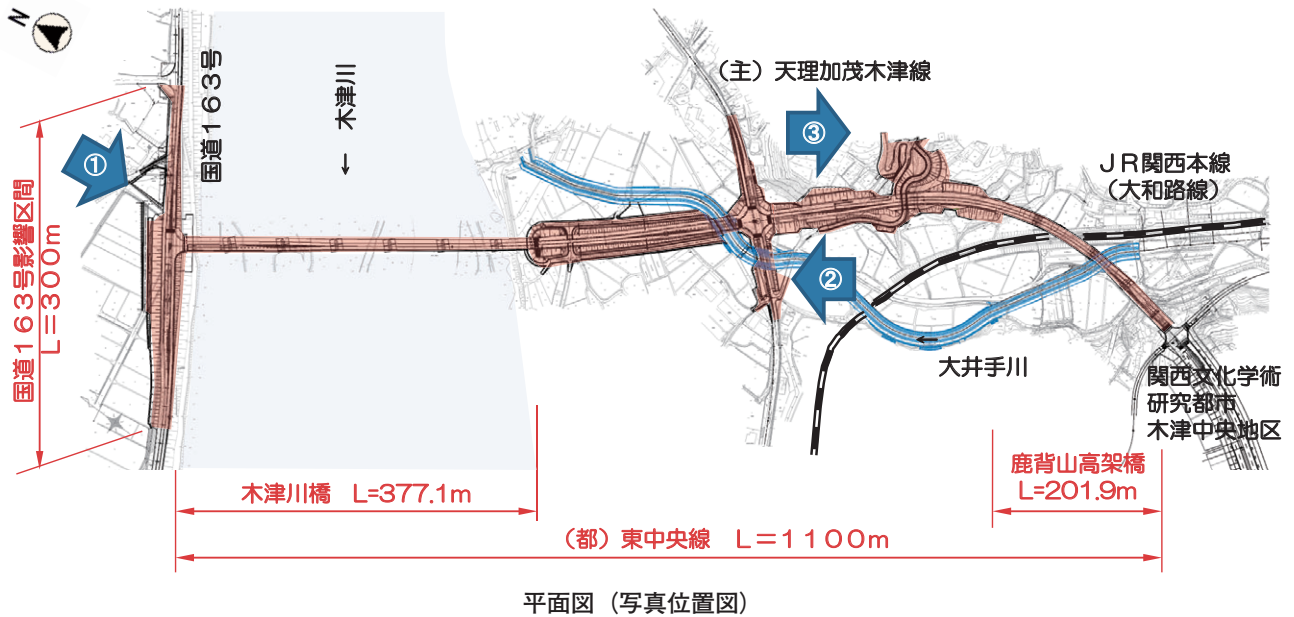
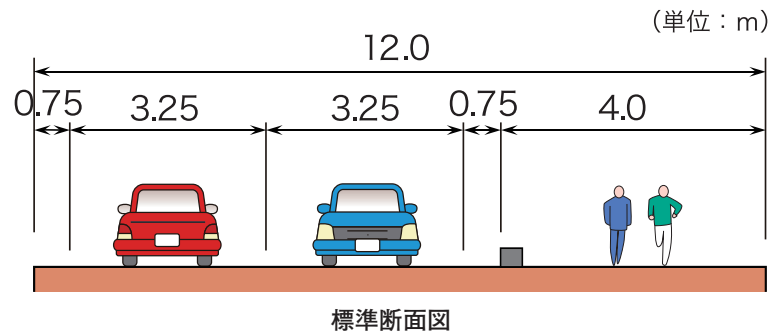
本事業は、直轄事業による木津東バイパス（L=0.6km）と同時開通することにより、木津中央地区の開発や地域のまちづくりを支援するほか、国道24号、国道163号の重複区間における慢性的な交通混雑の緩和等を目的としています。



東中央線とその周辺図

2. 事業概要

- 区 間 木津川市木津～木津川市山城町上狛
- 延 長 1.4km (国道 163 号影響区間を含む)
- 幅 員 12.0m (2車線 片側歩道)
- 事業期間 平成 21 年度～令和 2 年度
- 全体事業費 約 70.4 億円



写真①
国道 163 号から南側を望む



写真②
(主) 天理加茂木津線交差点周辺



写真③
(主) 天理加茂木津線から
木津中央地区を望む

3. 整備の効果

○ まちづくりの支援

関西文化学術研究都市の一部である「木津中央地区」は、その整備に伴い、年々人口が増加しています。また、木津中央地区と木津川市の中心市街地を結ぶアクセスには、踏切や狭隘な箇所がある道路を利用しており、アクセス性・安全性に課題があります。

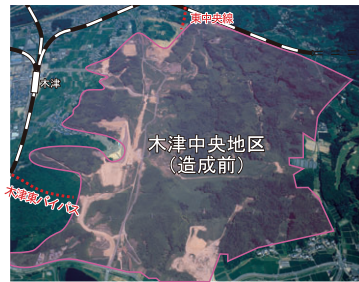
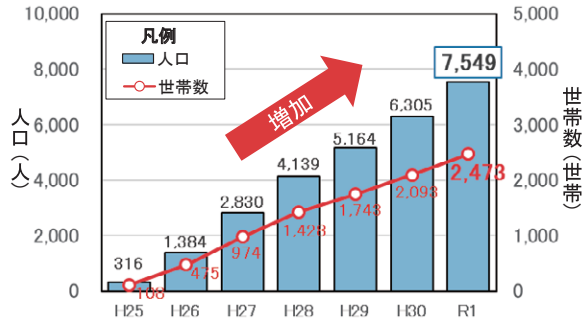
東中央線と木津東バイパスの整備により木津中央地区と中心市街地を結ぶ新たなネットワークを整備し、まちづくりを支援します。

木津中央地区の事業の進捗

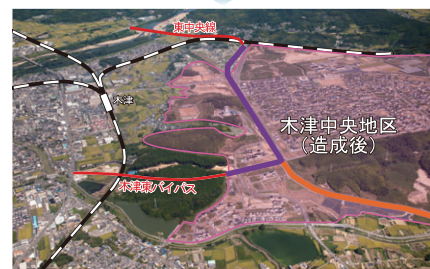
年月	事業の進捗状況
平成24年5月	木津中央地区まちびらき
平成24年9月	しるやまだい「城山台」UR分譲開始
平成26年4月	城山台小学校が開校 あいらみ愛光みのりこども園が開園
平成28年4月	京都大学大学院農学研究科 附属農場が移転

木津中央地区の人口推移

出典：木津川市の住民基本台帳登録世帯・人口集計表(各年12月末現在)



約10年後... ▲H19.8 撮影



▲H29.9 撮影

踏切を渡る必要があるアクセス道路



▲H30. 7. 25撮影



▲H30. 7. 25撮影

狭隘なアクセス道路



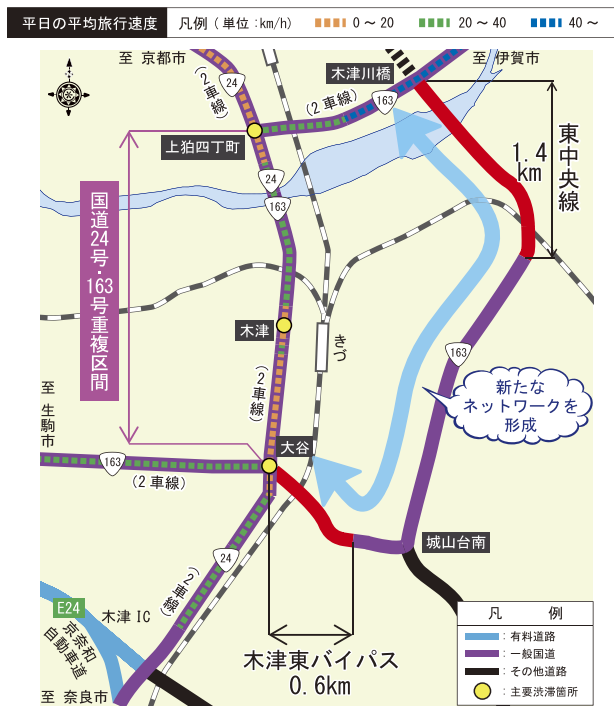
▲H30. 7. 25撮影



▲H31. 3. 13撮影

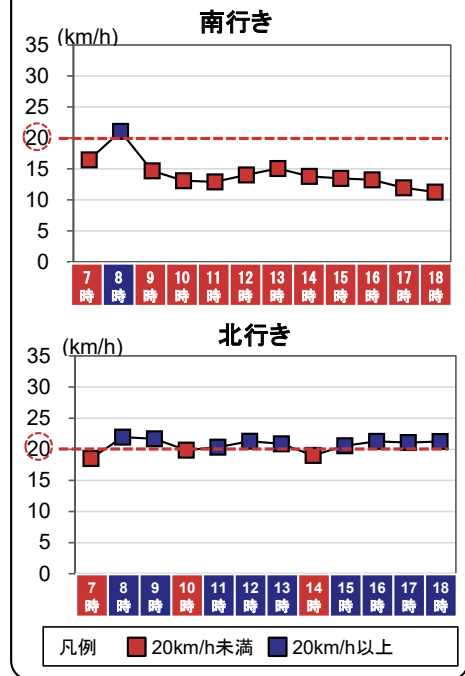
○ 交通渋滞の緩和

上狛四丁町交差点～大谷交差点は、国道24号と国道163号の重複区間であり、交通量が交通容量を超過し、慢性的な交通混雑が発生しています。東中央線と木津東バイパスを一体的に整備することで、重複区間に並行する新たなネットワークが形成され、交通混雑の緩和が期待されます。



旅行速度：ETC2.0プローブデータ
平成30年9月～10月平日平均

木津交差点～大谷交差点間の旅行速度

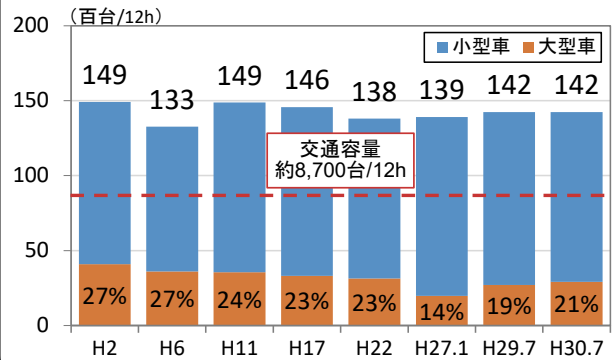


旅行速度：ETC2.0プローブデータ
平成30年9～10月平日時間帯別平均旅行速度

木津交差点の渋滞状況



重複区間交通量の推移



出典 交通量：道路交通量調査(H2、H6、H11、H17、H22)
京都国道事務所調べ(H27.1、H29.7、H30.7)
交通容量：道路交通量調査(H27)

○ 災害・事故等緊急時の代替輸送の確保

国道24号は、第1次緊急輸送道路に指定されており、災害拠点病院へのアクセス道として市民生活に欠くことができない道路であり、本事業区間の整備により木津川渡河の代替路確保や広域的なりダンダンシーの確保が可能となります。

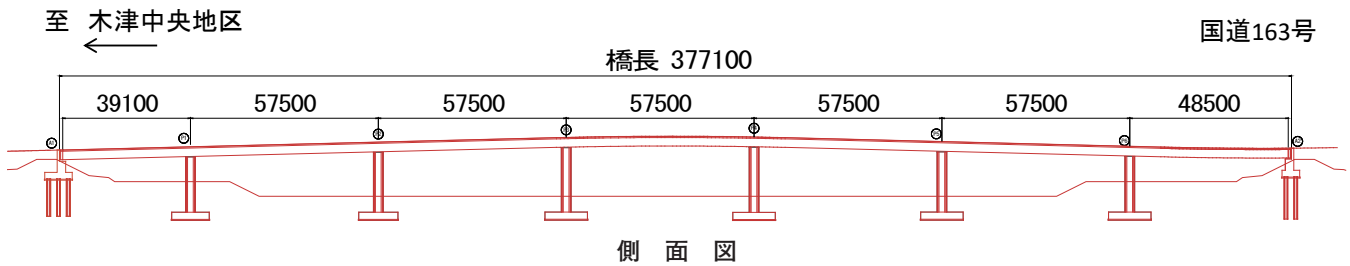
4. 主な構造物

○ 木津川橋（きづがわはし）

- ・ 橋 長 377.1m
- ・ 上 部 工 鋼7径間連続合成細幅箱桁橋
- ・ 下 部 工 橋台：逆T式2基 橋脚：小判型6基
- ・ 工 事 費 約24.2億円
- ・ 概 要

木津川橋は、周辺の「里山景観」との調和や山城地域で古くから栄え根付く「宇治茶生産の景観」にふさわしいデザインとなるよう、橋桁を木津川の砂をイメージしたグレーベージュ色とし、親柱、高欄にお茶の葉をモチーフにしたレリーフを施しています。

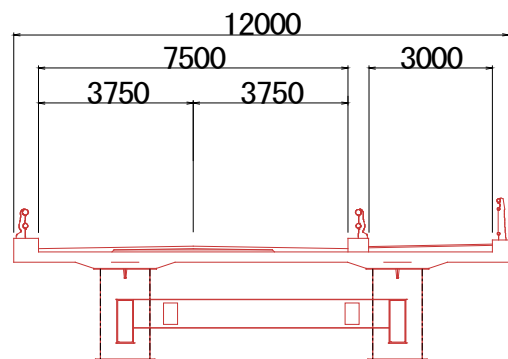
さらに、歩道部の高欄に抹茶色のビームを一本入れることで橋のイメージを引き締めるなど、随所にこだわりが見える作りとしています。



全 景



親柱、高欄

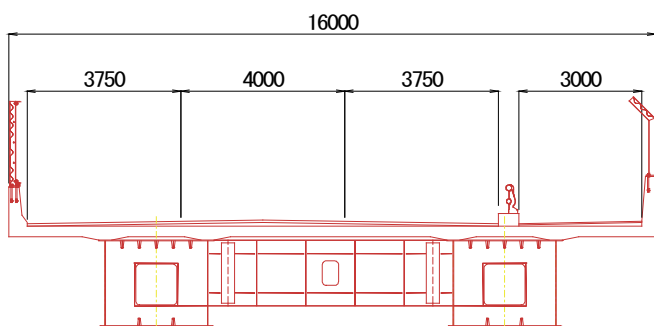
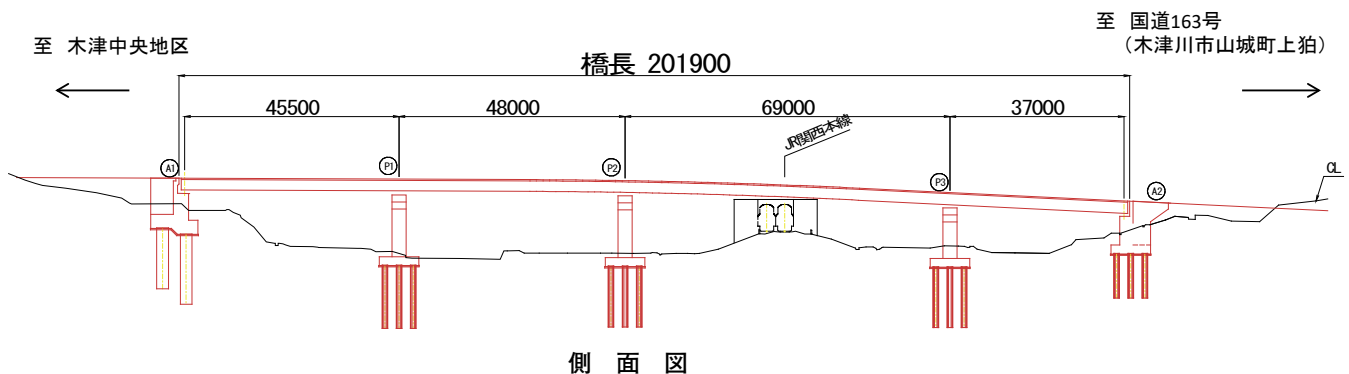


上部工標準断面図
(一般部)

○ 鹿背山高架橋（かせやまこうかきょう）

- ・ 橋 長 201.9m
- ・ 上 部 工 鋼 4 径間連続合成箱桁橋
- ・ 下 部 工 橋台：逆 T 式 2 基 橋脚：張出式 3 基
- ・ 工 事 費 約 21.9 億円
- ・ 概 要

鹿背山高架橋は、JR 関西本線（大和路線）を跨ぐ跨線橋で、JR 高架部（L=69m）の鋼桁は、列車の安全と円滑な運行に配慮し、1,250t 吊の超大型クレーンを使用し 1 晩で架設しています。



J R 高架部 鋼桁一体架設に向けて (1250t 吊クレーン)

5. おわりに

東中央線の開通に当たり、直轄事業の木津東バイパスと併せて国・府・市の共催による式典を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

今後、両道路の開通に加え、現在着々と整備が進められている新名神高速道路や京奈和自動車道、国道 24 号城陽井手木津川バイパスなどの道路ネットワークが充実することで、人流・物流の利便性が飛躍的に向上し、地域のさらなる発展に大きく寄与すると期待しています。